



LDI

LDI-LD判断のための調査票

LDIの特徴

国内で初めて本格的に標準化された「LD判断のための調査票」で、教育現場、相談所、専門機関などでLD判断のための一つの資料として役立つ。

子どもを実際に指導し、学習状況を熟知した指導者や専門家が、普段の子どもの様子を基に評定する。

6つの基礎的学力(聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する)と行動、社会性の計8領域で構成。「ない」「まれにある」「ときどきある」「よくある」の4段階評定を用いる。

社会性や行動面の尺度がついているので、学習以外の指導のニーズについても知ることができる。

それぞれの領域における子どもの個人内差が、パーセントイル段階で視覚的にとらえられ、LDIプロフィールよりLDの有無を検証できる。

対象年齢:小1～6(中学生は準用)

所要時間:20～30分